

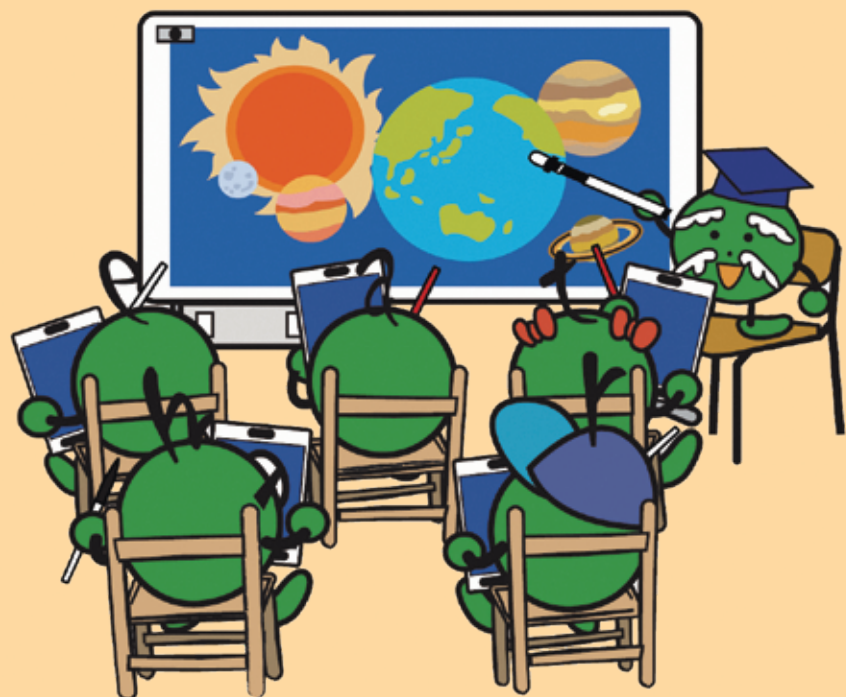
こどもエコクラブ 活動報告集2021

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。昨年度に引き続き、令和3年度はコロナ禍のため思うように活動できないクラブが多かったのですが、秋田県で37クラブ、3,172人（令和4年2月28日現在）のメンバーが登録し、環境に関わる活動を行いました。

この報告集は、各こどもエコクラブから今年度行った活動について報告をいただき、それらをまとめたものです。報告には、みなさんの今後の活動の参考となるところがたくさんあります。また、全国の優秀な活動をまとめた壁新聞も掲載しています。これからの活動がさらに広く深くなるための手助けになれば幸いです。



活動紹介



1 ガン・パティオこども園こどもエコクラブ(秋田市)

7月16日(金)～17日(土)、1泊2日で太平山自然学習センターに出かけました。親元を離れて初めて過ごす体験です。まずは付近の森林探索を行い、森や自然を身近に感じ、驚きや発見を友達や保育者と共有することができました。その後、自分たちが森で拾った素材を使ったクラフトづくりを通して自然を満喫しました。また、宿泊の次の日の朝の散歩でセミの羽化の瞬間に遭遇したことは、生命の神秘に出会えた奇跡の体験でした。



森の散策



クラフトづくり



セミの羽化

2 井川義務教育学校自然観察クラブ(井川町)

今年度は、地域の先生に教えていただきながら、「井川の水質調査」「カヌー体験」「竹とんぼ作り」など、自然と触れ合う体験を行うことができました。30年以上に渡って毎年取り組んでいる水質調査の結果からは、井川の水質はだんだんよくなってきていることが分かります。これからも大切なふるさとの自然を守り続けていきたいと思っています。



日本国花苑の堤で、地域の先生と
いっしょにカヌーに乗りました。



今年はヘビトンボの幼虫が例年にな
いほどたくさん見つかりました。

3 大館市立成章小学校(大館市) 令和3年度環境教育支援校

これまでも校豆栽培やペットボトルキャップ回収、クリーンアップやリサイクル体験などを行ってきた本校。今年度は、SDGsの視点から展開された学習や活動が多くありました。自分たちでつくった米、みそ、野菜を使つての調理実習は、地元の新聞でも紹介されました。また、コロナ禍で昨年中止になったアユの放流活動も、地元企業の協力で行うことができました。住みよいくらしのための環境保護や自然を大切にするためにできることを、みんなで考えています。



米代川へのアユの放流



地域の方といっしょの花壇作業

4 どれみ保育園エコクラブ(大仙市)

どれみ保育園では、保護者や地域の方たちからのご協力を得て、集まった資源ゴミの分別・野菜の栽培など様々な体験を通して「生きる力」の基礎を培っています。

今年は、学童さんとのコラボで廃材を利用した「お店屋さんごっこ」をしました。いつもは、ゴミになってしまう物も再利用することで、みんなで楽しめる事を改めて実感しました。「物を大切に楽しくリユース」そんな言葉のもと、これからも楽しんでいければなあと思います。



おかいものごっこ



はたけかつどう

5 醍醐小学校キラリエコクラブ(横手市)

今年度も県の事業を活用して中庭のピオトープ「ザ・池」作りをしました。ザリガニを駆除して、クロメダカが繁殖する環境を作るとともに、植樹も行いました。池の周りには、グリーンカーテンや長いすも設置し、児童は生き物観察に親しみながら、憩いの場として利用していました。

また、全校でアルミ缶回収を行い、その収益金で地域の老人福祉施設へ、3Rの一つ「リユース」の考え方を生かして、車イスを送ることができました。このような活動を通して、自然や地域を大切にすることを育てていきたいと考えています。



「ザ・池」記念植樹



「ザ・池」完成式典 全校写真



アルミ缶回収

6 横手南小学校(横手市)

本校では、自然大好き委員会が中心になって一人一鉢運動を行っています。6月に校庭の花壇に委員がペゴニアとマリーゴールドを植えます。続いて全校児童537人が地域の方々と一緒に赤・白・ピンクのペゴニアを鉢に植えます。これが一斉にひな壇に並ぶと、約80mほどの花の通りができ、子どもたちはもちろん、来校者や地域の方々の目を楽しませています。11月には委員が400個のチューリップの球根を植え、次の春を待ちます。



ペア学年で協力して植えます



一人一鉢コンクールの審査

7 浅舞小学校をいよこエコクラブ(横手市)

全校児童259名で「ひまわりプロジェクト2021」に取り組んでいます。地域の方々にも協力していただきながら、ひまわりの種まきや水やり、除草をしています。ここ1～2年、鳥害で収穫が減り、どのように栽培すればよいのか悩んでいるのですが、今年も、学校で収穫した種と併せて、学区内の保育園や近隣の支援学校、老人福祉施設の方々に協力して栽培していただいた種を搾油させてもらいました。瓶詰めされた「ひまわり油」は調理実習に使ったり、朝市で販売したりします。ひまわりを中心に地域と連携を強くし、環境への意識を深めています。



兄弟学年でひまわりの苗植え



みんなでひまわり観察会

8 あきたチアースクラブ(秋田市)

コロナ禍でも密をさけ、少人数で回数を重ねました。夏と秋に「お家でエコ」は、5Rのポスター作成、温暖化をテーマに川柳づくりをしました。6月には全国一斉水質調査、8月には水生生物調査、緑の交流集会と外で活動しました。11月にはクリスマスリースづくり。リースは杉の葉っぱで時計回りになっていて、永遠に時を刻む。ヒイラギは悪魔を追い払い、赤い実はキリストの血を意味するそうです。森吉に行けなくて残念でした。



クリスマスリースづくり



岩見川：水生生物調査



出来上がったリース

9 にしとこ子クラブ(大館市)

令和3年度環境教育支援校

「西館ふるさとの日」の様子を紹介します。この日は、全校児童が縦割り班ごとに地域の山に登った後、クリーンアップをしたり、本場比内地鶏がたっぷり入ったきりたんぽなべを作って食べたりします。今回はこどもエコクラブからいただいたおそろいのパンダナを巻いて活動しました。本校は「SDGs」を合い言葉にいろいろな活動に取り組んでいるので、これからも地域や未来のためになることを考えて活動していきたいと思います。



山の頂上で記念写真



帰りはみんなでクリーンアップ

10 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校(秋田市)

令和3年度環境教育支援校

中学部ファーム班は、働く力の育成を目指した作業学習のグループで、今年度から6名でスタートしました。玄関前の花壇にジニアとマリーゴールドを約200本定植し、小学部の児童には花のプレゼントをしました。現在は、来年度の創立50周年に向けた虹色の花壇づくりを目標に、ヴィオラとパンジーの育苗に取り組んでいます。「みんなのためのファーム班」を合言葉に、花いっぱい为学校づくりに励んでいます。



マリーゴールドのプレゼント



ジニアの定植

11 大雄っ子エコクラブ(横手市)

令和3年度環境教育支援校

大雄小学校では、総合的な学習で「飛び出せ！大雄っ子活動」を行っています。6年生は味噌づくりに取り組んだり、横手の発酵文化について調べたことを発表したりしました。また、5年生は、田植えや稲刈り、米販売体験をしました。地域の産業や食文化に触れることで食べ物についての関心が高まり、食べ物を大切にする思いが高まりました。4年生は地域特産のホップ栽培に取り組みグリーンカーテンの効果を確かめました。



4年生のホップ収穫体験



5年生の米作り体験



6年生の手前味噌作り体験

13 テビっ子クラブ(秋田市)

保育園や家庭から集めた廃材を使った、自由工作の時間を楽しんでいます。工作の時間が始まると「何を作ろうかなあ～」と作りたい物を考えて、イメージした物を子ども達なりに再現しようと、試行錯誤しながら取り組んでいます。工作の回数を重ねていくたびに、イメージした物も上手に作れるようになってきました。最近では、子ども達のブームになっているアニメに出てくるキャラクターに扮するべく、トイレットペーパーの芯や箱の切れ端に模様を描いて、自分のなりたいキャラクターになりきって工作を楽しんでいます。



12 わくわくエコ工房(秋田市)

今年は活動があまりできませんでしたが夏に児童館に集まった子供たちと自然物、主に河川の流木を使ってカギ掛けオブジェを作ってみました。他に「もったいない」精神を学んでもらいたくて環境紙芝居も行いました。なるべく自然物(流木)を材料に使うことで水を貯える森の大切さや最後に流木になっても役に立つものになることなど子供たちが作ったカギ掛けオブジェを玄関において家族みんなで環境の話ができればと願っての活動でした。



秋田市校児童館で自然物を使ったカギ掛けオブジェを作っている様子

14 花岡小アルミ缶集めプロジェクトX(大館市)

令和3年度環境教育支援校

全学年で取り組むふるさとキャリア教育、本校のテーマは「まちづくり花岡チャレンジ活動」。その中で3年生はアルミ缶回収を全校や地域に呼びかけました。

これまで3年生の伝統的な活動として引き継がれてきた回収活動ですが、その年その年で、アイディアを出し合い、呼びかけ方やポスター作成などを工夫してきました。今年の3年生は朝の呼びかけ活動を考え、看板を持ちながら校内を巡りました。地域の方にも校報を通じて校内の取組が発信され、今ではたくさんのご協力をいただいております。集まったアルミ缶を業者さんに取りに来ていただく段取りも子どもたち。お金に換えるまでのサイクルも覚えました。



15 羽城中学校科学部(湯上市)

令和3年度環境教育支援校

私たちは、学校周辺の環境調査を行いました。水質調査は、学校周辺(17地点)の塩素濃度を測定しました。残留塩素(DPD法)は、11地点で0.05～0.1mg/L、生活排水を含む地点では0.3mg/L以上を示しました。用水路には、指標となる水生生物(アメリカザリガニ、クロメダカ、ジャンボタニシ等)が生息しています。土壌調査は、土壌酸度測定器を使用し、科学部で栽培しているジャガイモの生育研究に役立てました。生育に適した肥料選びや条件を考え、今後の活動につなげていきたいと思っています。



「残留塩素測定器」を用いた水質調査



「土壌酸度測定器」を用いた土壌調査

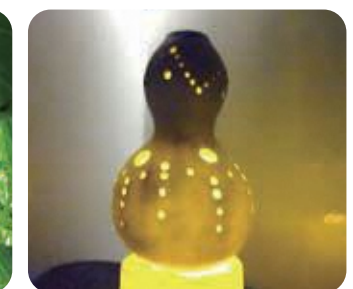
16 湯沢南中学校自然科学部(湯沢市)

令和3年度環境教育支援校

自然科学部では地域の環境をよくするための活動として、緑のカーテンの普及を目指しています。今年度もヒョウタンとフウセンカズラの緑のカーテンを作りました。今年は千成ヒョウタンを育てました。千成ヒョウタンは普通のヒョウタンよりも実は小さいのですが、生命力が強く、たくさんの実を収穫できました。学校祭で自然科学部展に来てくれた生徒にランプ作りをしてもらい、できたランプをプレゼントして喜んでもらいました。



自然科学部の緑のカーテン



ヒョウタンランプ

17 神代小学校エコクラブ(仙北市)

全校児童144名が、伝統の「花のいのちを育む活動」に仲良く取り組みました。今年度は、地域のお年寄りの施設などに花を届ける活動や縦割り班でデザインして72種類のチューリップの球根を植える活動にも取り組みました。希望者が集まり花を生かす活動を楽しむ「花いっぱいクラブ」も発足しました。また、児童会では、SDGsの取り組みとして自分達にできるエコ活動について話し合い、活動を広げようと取り組んでいます。



ジャンボひまわり



「花いっぱい笑顔いっぱいプロジェクト」



毎朝のお花の世話
「どの花つもうかな。」

18 にかほ市立平沢小学校(にかほ市)

野外観察クラブでは、「自然観察ニカホの会」の地域の先生の指導のもと、自然についていろいろなことを知る活動を行っています。1学期は、市内にある森林公園を歩き、様々な草花を観察したり、森に住む生き物を見付けたりしました。また、近くの田んぼへ出かけ、ドジョウ等の観察をしました。2学期には、めったに味わうことができない木の実を食べる活動も行いました。また、自然観察だけでなく、植物のタネの画像を見たり、タネの模型を作製したりすることでタネの不思議さ、命をつなぐすばらしさについて学ぶことができました。このように、自然にあるものを目で見たり、においをかいだり、さわったり、味わったりしながら自然を感じることで、自然を大切に、自然を守ろうとする気持ちを育てています。



市内の森からとれた木の実



木の実を
あじわう

23 東館保育園エコクラブ(大館市)

地域の方から畑をお借りし、さつまいもを栽培しました。はじめは細くて長い一本の棒のような苗に「本当に大きくなるのかな」「どこにさつまいもができるんだろう」と期待と不安が入り交じった表情の子ども達。みんなで大事に見守り生長を心待ちにしました。秋には祖父母のみなさんと一緒に収穫。土の中から紫色のさつまいもの端っこが見え、「ここにもあった!」と感動の声と表情からは、収穫の喜びがにじみ出ていました。らいおん組(年長)は収穫したさつまいもを使ってクッキング。相手を思って作ったおやつは保育園みんなを笑顔にしてくれました。初めてのエコクラブ活動を通して、子ども達はますます自然への関心が深まりました。



さつまいもできるかな...



今年は大豊作!



さつまいもクッキング

24 イオン土崎港チアースクラブ(秋田市)

私たちは、小1から中3までのメンバーで活動しています。毎年、草木谷の田植や稲刈り、白神山地の植樹等しておりましたが、今年度も残念ながら、集まっの活動は出来ませんでした。そんな中2021年度は、お家でチアース「スローガンポスターコンクール」「川柳コンテスト」に応募し、それぞれ1名ずつ銀賞を受賞しました。

これからも身近な環境問題に関心を持ち、今まで活動を通して学んだことを実践していきたいと思っています。



竹郎電は
未来が
変わる
心がけ

19 角間川小学校エコクラブ(大仙市) 令和3年度環境教育支援校

全校77名で自然に親しみ、身の回りの環境を守る活動に取り組んでいます。

全校で学校花壇やサツマイモ畑、緑のカーテンの植物栽培運動を行いました。今年度は、ゴーヤに加えて朝顔のカーテンにも取り組みました。暑さを遮ってくれたきれいな花を観賞し、収穫した種を空き缶集めに協力してくれた子へのプレゼントにすることができました。

今後もこのような活動を通して、自然や地域を大切にしていこうとする気持ちを育てていきたいと思っています。



縦割り班で育てたサツマイモがたくさん収穫できました。



プレゼントするための種を取ってます。

20 横手市立雄物川小学校(横手市)

雄物川小学校では毎年、主に環境・ボランティア委員会が中心となり、全校児童でアルミ缶・プラスチック回収と花壇整備に取り組んでいます。今年度も、月に1回程度玄関ホールで回収を行い、委員会の時間にアルミ缶の圧縮や呼びかけ用のポスター制作を行いました。収益金を活用して、車椅子等を購入し、年度末に社会福祉協議会を通じて地域の福祉施設に贈る予定です。また、花壇への水やりや草取り、校内外の清掃を定期的に行い学校の美化に協力することができました。これからも、地域や学校のためになることを考えて活動していきたいと思っています。



10月下旬まで、大切に植物を育てました



校舎前にプランターを置きます



清風荘への訪問
(昨年度の様子)

25 イオン秋田中央チアースクラブ(秋田市)

2021年度秋田中央チアースクラブの活動は恒例お店周りの河川水質調査と清掃活動をし今年もおうち企画「環境スローガンポスター」〈環境川柳〉に参加しました。

それぞれ入賞出来たことにより、メンバーの自信につながったようです。



水質調査



川柳



環境スローガンポスター



21 十二所保育園エコクラブ(大館市)

ペットボトルキャップ回収運動も4年目となり、定着しています。12月までに集まったペットボトルキャップは約26キログラム!!保護者の協力もあり、登園時に親子でキャップを回収boxに入れている姿が見られていました。そして今年はエコ活動週間を設け、「ぼくの / わたしのエコカード」を家庭に配布し、親子で一緒にエコ活動をしていただきました。達成できたカードと保護者のコメントから、頑張っ取り組んでいたことが伺われました。

これからも園だけでなく家庭もエコ活動の意識を継続して高めていきたいです。



お家でエコ活動にチャレンジ!!
お家の人からのコメントがうれしいですね!



たくさんのキャップが集まりました。

22 秋田令和高等学校自然科学部(秋田市) 令和3年度環境教育支援校

本校自然科学部では、学校に隣接する千秋公園の生物相調査を行っています。千秋公園は秋田市の中心部にありながら驚くほど多様な生物が生息しています。それを記録し、変化を見守ることを部のテーマにできればと考えました。

今年度は昆虫を中心にした節足動物、魚類・鳥類を中心とした脊椎動物について調べ、現在285種の生物を記録しました。大変なこともたくさんありましたが、充実した調査活動でした。



27 にしげこエコクラブ(大館市)

子どもたちの歓声が響き渡る畑での活動はとても生き生きした風景です。今年は2歳児~5歳児さんのクラス畑(20m畝)が動き出しました。単なる苗植え収穫ではなくお世話をたっぷりできるようにし、ゴールをクッキングして食べることにしました。朝の日課のように畑に出では、成長ぶりを教えてくれます。実に生き生きした笑顔です。植えつけからクッキングまでの一連の活動はまさに食育活動の神髄と思えるほどです。自然を楽しめる環境は一人ひとりが大事にしたいそんな心模様で畑を舞台に活動しています。



枝豆



米収穫

28 秋田南高等学校自然科学部(秋田市) 令和3年度環境教育支援校

猿田川を調査地として、河川内のマイクロプラスチック(MP)をテーマに研究しています。2050年には、海洋のMP重量が生息する魚たちの重さを超えてしまうと考えられています。私たちは、海洋MPが河川から流入していると考え、猿田川の土壌や生息しているモズガニの体内を調べ、そこかなりのMPが存在することを突き止めました。これからも研究を継続し、豊かな自然環境が持続的に保護できるように頑張ります。

研究成果・第65回日本学生科学賞 秋田審査委員会 秋田県知事賞受賞
・海と日本PROJECTマリンチャレンジプログラム発表(東北地区選抜)



猿田川での調査の様子



実験室での様子

29 長木コ子(大館市)

今年度もエゾタンボポの群生地の発見を契機とした「エゾタンボポプロジェクト」を継続して実施しました。

今年度の特色は、地域の有志の方が発起人となった「あじさいレールロード10年プラン」に5・6年生を中心に参加したこと。きれいで誇りの持てる地域にしたいという思いのもと、あじさいの植樹をしました。今後も地域と共に地域の環境を考えていこうという思いをもちました。



30 せいいいエコクラブ(秋田市)

～形になり始めたスマイル CAN デー～

5月20日年長そら組13名と換金回収ボックスに親子で集めたアルミ缶をもっていきました。10個目でチャリーンと音がして金貨のような5円玉に目もキラーン。この時は60個の缶で30円の収穫となりました。捨てたらゴミ!からの換金回収。お正月の献金までいくらかになるかわくわくしながら続けました。子どもの手でできる助け合い。喜ぶ笑顔を想いながら、エコといっしょにこれからちょっとずつ続けていこうね。



いっぱい集まってきたねアルミ缶

31 西目中理科クラブ(由利本荘市)

科学部として、「酢酸ナトリウムの凝固熱を利用したカイロ作成」と「咀嚼音」についての研究を行いました。酢酸ナトリウムの研究では、ラップ、PET素材の袋が成功率が高いこと、酢酸ナトリウムは、何回使おうがその後の成功率に影響を与えないことを発見した。咀嚼音の研究では、一定のリズムがある音が好まれ、だ液量にも変化があることを発見した。今後も様々な実験に取り組み、環境に優しい技術の開発に挑戦していきます。



文化祭での発表

これまでの研究のまとめ作業

32 ひろおもてエコクラブ(秋田市)

今年は、幼稚園年長から小5までの8人で活動しています。しかし、新型コロナの流行による休校などもあり、急遽活動中止が3回もありました。そんな中でもメンバーが少ないため臨機応変な内容の変更もでき、様々な活動ができました。毎年作成している壁新聞も、活動が少なく、室内で集まって活動することへの懸念により一時は断念しましたが、今までで最少の男子3名でまとめあげることができました。ぜひ、私たちの活動の様子を壁新聞で見てください。



33 秋田大学教育文化学部附属中学校情報・科学部(秋田市)

私たち情報・科学部では、「雑草から紙を作り上げる」研究に取り組みました。SGDsの視点から、廃棄されるものをなくすということがコンセプトです。雑草の種類や繊維を細かく粉砕する方法、漂白の仕方等試行錯誤を重ねながら実験を繰り返しました。何とか文字を書き込むことができる「紙」の手順を編み出すことができましたが、まだまだ安定した製品を作り出せる状態ではありません。今後も、研究を重ね安定して「紙」を作り上げられる方法を提案できるように研究していきたいです。

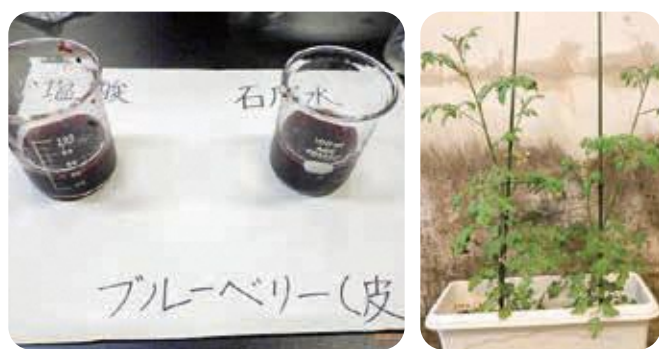


完成した紙

薬品を用いて雑草を粉砕している様子

34 秋田南高校中部自然科学部(秋田市)

私たち自然科学部では、26名が5つの班に分かれて活動しました。学校近くを流れる猿田川の微生物の研究では、微生物数と天気・気温・湿度の相関性を考えました。この他、酸性やアルカリ性の水溶液で色が変化する植物の研究、苗から育てたトマトで蒸散量を調べる研究などを行いました。これまで知らなかった、植物や動物の作用を知ることができました。研究を継続し、身近な生物のもつ能力や性質を調べていきたいと思います。



「全国エコ活コンクール」受賞壁新聞紹介

全国のこどもエコクラブや、環境活動をしている子どもたちのグループ、個人が全国のみんなにエコ活動の成果や感じたこと・気づいたことを壁新聞や絵日記にまとめて伝える「全国エコ活コンクール」。今年は、全国から114点の壁新聞と、197点の絵日記が集まりました。

今年の作品は、こどもエコクラブ全国事務局のウェブサイトに掲載されています(<http://www.j-ecoclub.jp/topics/info/202203021400.html>)。また、応募すると、以下の特典があります。全国の作品を参考にして、どしどし応募しましょう!

●特典1 活動をみんなにアピール

応募された全作品をこどもエコクラブウェブサイトに掲載したり、全国各地で行われる環境イベント・広報活動等で展示したりするなど、みんなの想いをアピールすることができます。

●特典2 ステキな商品をゲット!

応募してくれた方に、参加賞としてメンバー手帳を1人1冊差し上げます。

●特典3 こどもエコクラブ全国フェスティバルの参加

応募作品の中から優れた作品に優秀賞が贈呈されます。受賞メンバーは、東京で開催される表彰式にご招待するほか、「全国フェスティバル」のプログラムに参加して、全国の仲間と交流することができます*。受賞メンバーのうち、4名分の旅費は秋田県で負担します。 ※令和3年度は新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催となりました。



環境大臣賞

「やっぱすごか!熊本のわき水」
広西地球環境クラブ
(広安西小学校環境委員会)

文部科学大臣賞

「奥尻の食 地産地消」
青山チャレンジキッズ

消費者庁長官賞

「私たちにもできる
地球を救うアップサイクル」
富士市立岩松中学校

日本環境協会賞

「未来へのバトン
つなぐのは私たち」
真岡児童館やさしくラブ



こくみん共済coop賞

「地球を守る10の方法」
香美市こどもエコクラブ
自然とふれあいたい

タカラトミー賞

「ケロケロカエル調査新聞15」
上津探検隊

ミールケア・エコまる賞

「みどりといよろぐグリーン・キッズ」
緑と太陽の保育園グリーン・キッズ

※大きな画像は、こどもエコクラブ全国事務局のページ(<http://www.j-ecoclub.jp/topics/info/202203021400.html>)を御覧ください。

県内壁新聞紹介(全国エコ活コンクール応募作品)

「環境教育」に関する秋田県の主な事業

あきたチアーズクラブ



ひろおもてエコクラブ



子どもたちからの アピール ポイント

人数が少ない活動がありましたが、一方で多くの仲間と力を合わせ、秋田の山や川で遊ぶことができてよかったです。初めて取り組んだポスターや川柳も今までの学びが役立って助かりました。続けることの大切さを知りました。

ぼくたち広面エコクラブは、秋田市広面地区を中心に自然によい活動をしています。今年度はゴミ拾いをしたり水辺のかんさつをしました。家の近くでホタルが見れる自然ゆたかな町で年長から五年生までの8人で活動しました。全国のみんなにじまんでできる町なのでぜひ来てみてください。

子どもたちからの アピール ポイント

サポーターからの メッセージ

コロナ対策に万全に取り組んでくれました。初めての体験で、高尾山散策やポスター、川柳など子どもたちの個性を感じることができました。メンバーを募集できない状況なのが残念です。

今年はコロナのため休校があったりし、例年よりも活動できる月が少なく、プログラムも変更しながらとなりました。

壁新聞づくりも取り組むか悩みましたが、思いきって「やりたい」となり事前に個人カードを記入し半日別のプログラムの午後で仕上げました。作業は小3～5の男子3人、うち2人は今年の新メンバーでしたが、とてもよく頑張りまとめたと思います。少人数であるからこそ、自由な、地域に根ざした活動ができていると思います。

サポーターからの メッセージ

コロナ禍にも負けず、秋田県からも、メンバーと地域の人たちが元気にエコ活動（エコロジカルあくしょん）を行っている姿を紹介する壁新聞が集まりました。メンバーが感じたこと、気がついたこと、秋田県のこれからについて思ったことなどが、とてもよく伝わってきます。



こどもエコクラブ支援事業 https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/47640	こどもエコクラブの登録、活動、コンクールの参加等を支援するほか、新規会員に対し秋田県オリジナルパンダナの提供や、こどもエコクラブ全国フェスティバル受賞メンバーの旅費の負担をします。
環境教育支援校 https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/54669	全県から応募のあった小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校から10校程度を環境教育支援校として指定し、環境教育に必要な器具類を3万円程度まで無償提供します。
観察・実験器具の貸し出し https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/46590	環境に関する学習で活用できる観察・実験器具等を貸し出します。貸し出しにかかる費用は、送料等を除き無料です。貸し出しできる器具はリンク先をご覧ください。
あきた環境学習応援隊 https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/36470	環境教育に関する講師の派遣や教材の提供、環境学習会や施設見学の受け入れなどを行っている企業や団体を紹介しています。
地域の環境活動支援事業 https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/43063	市町村、学校及び住民団体等が主催する講演会や学習会等に、環境保全団体・環境保全に関する講師を無料で派遣します。理科や社会科、総合的な学習の時間の授業等でも御活用ください。
環境大賞 https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/38645	団体・学校や教育関係機関・個人で行っている、他の模範となる環境保全活動を知事表彰しています。
あきたエコ&リサイクルフェスティバル https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/38647	アゴラ広場、秋田駅前大屋根通りで行われるイベントです。ステージイベント、出展ブース、体験コーナー等で、楽しみながら環境やエコについて学ぶことができます。



ストップ・ザ・温暖化キャラクター
マスコットキャラクター
「あすびー」

令和3年度

登録クラブ一覧

37クラブ3,172名(令和4年2月28日現在)

1 サン・パティオこども園 こどもエコクラブ(56名)	20 横手市立雄物川小学校(339名)
2 井川義務教育学校自然観察クラブ(8名)	21 十二所保育園エコクラブ(31名)
3 大館市立成章小学校(74名)	22 秋田令和高等学校自然科学部(17名)
4 どれみ保育園エコクラブ(24名)	23 東館保育園エコクラブ(14名)
5 醍醐小学校キラリエコクラブ(126名)	24 イオン土崎港店イオンチアーズクラブ(21名)
6 横手南小学校(534名)	25 イオン秋田中央チアーズクラブ(8名)
7 浅舞小学校たいよっこエコクラブ(259名)	26 横堀こどもエコクラブ(31名)
8 あきたチアーズクラブ(27名)	27 にしだてエコクラブ(31名)
9 にしたてっ子クラブ(86名)	28 秋田南高等学校自然科学部(25名)
10 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校(6名)	29 長木っ子(138名)
11 大雄っ子エコクラブ(159名)	30 せいいいエコクラブ(90名)
12 わくわくエコ工房(4名)	31 西目中理科クラブ(5名)
13 チビッツクラブ(90名)	32 ひろおもてエコクラブ(8名)
14 花岡小アルミカン集めプロジェクトX(9名)	33 秋田大学教育文化学部附属中学校情報・科学部(67名)
15 羽城中学校科学部(1名)	34 秋田県立秋田南高校中等部 自然科学部(26名)
16 湯沢南中学校自然科学部(9名)	35 あきたみどりフレンド(20名)
17 神代小学校エコクラブ(144名)	36 こひつじこクラブ(46名)
18 にかほ市立平沢小学校(295名)	37 西目シーガルエコクラブ(267名)
19 角間川小学校エコクラブ(77名)	